日本予防医学リスクマネージメント学会
Japan Society of Risk Management for Preventive Medicine
JSRMPM

東日本巨大地震 2011 に関する医療機関からの声

(Voice of Hospital)

~~公開したい意見・要望は、以下にてお寄せください~~

~~(Email)　jsrmpm-office@umin.net~~
~~(Fax)　03-3817-6770~~

本伝言サイトと類似のサイトが極めて多数国内に出回りました。
学会としては本サイトの初期の社会的使命を十分に果たしたと判断し、本伝言サイトの活動を中止します。
今後は、そちらをご利用ください。　---- 2011 年 3 月 18 日

//

東北大から ---　2011 年 3 月 14 日

夜間、一時的に電気が通じ、メイルしています。

ライフラインがすべて止まって 3 日目、水、食料が足りず、多くの市民が耐乏生活です。
職場は建物は大丈夫でしたが、あらゆるものが転倒しメチャクチャです。
各病院は総力を挙げて診療に当たっています。
外傷、呼吸器、腸管感染症の患者数が増加することが予測されます。
津波による溺死の検死は今のところ対応されていますが、今後対応が難しくなると思われます。

病院管理学　教授　濃沼信夫

//

福島県立医科大学から ---　2011 年 3 月 14 日

至急助けてください。県から国に要請が言っていないのでは？と思います。
全く災害対策本部が機能していません。

水　食糧　（飲料用のみならず医療用の水が底をつきそうで診療数を増やすことができない）
薬剤　透析液　サブラッド（もうすぐなくなります）
点滴液
ヨード剤
サーベイを行う放射線科医並びに放射線技師　交代要員
ガイガーカウンター
完結型 ER 2 組
大気中放射線量測定情報
職員通勤用ガソリン
衛星電話（県が全く災害対策本部として機能せず、病院間の連絡がつかない）

放射能汚染の正確な情報

院外地域で必要な物
除洗が必要な場合の大量の水、その後の着替え。
被ばく地域への被ばく者がシャワーを浴びることができる簡易施設を有する施設
部隊派遣
運びたされた避難民を収容する施設　防寒具　水、食糧

医療安全部　教授　　橋本重厚

//

日本医科大学付属病院から　---　2011 年 3 月 14 日

こちらは、日本医科大学付属病院　医療安全管理部です。
取り急ぎ、以下ご連絡いたします。
こちらからの支援として
放射線科医師を　２，３名派遣予定です。
詳細については、ただいま、文科省と合議中です。

以上、取り急ぎご連絡させていただきます。

医療安全管理部　医療安全室　　西山 智子

//

北里大学医学部から　---　2011 年 3 月 14 日

予防ができる二次災害のヒント
http://www.jsrmpm.org/JapanEQ2011/二次災害防止.pdf

北里大学医学部 衛生学公衆衛生学　講師　和田耕治

//